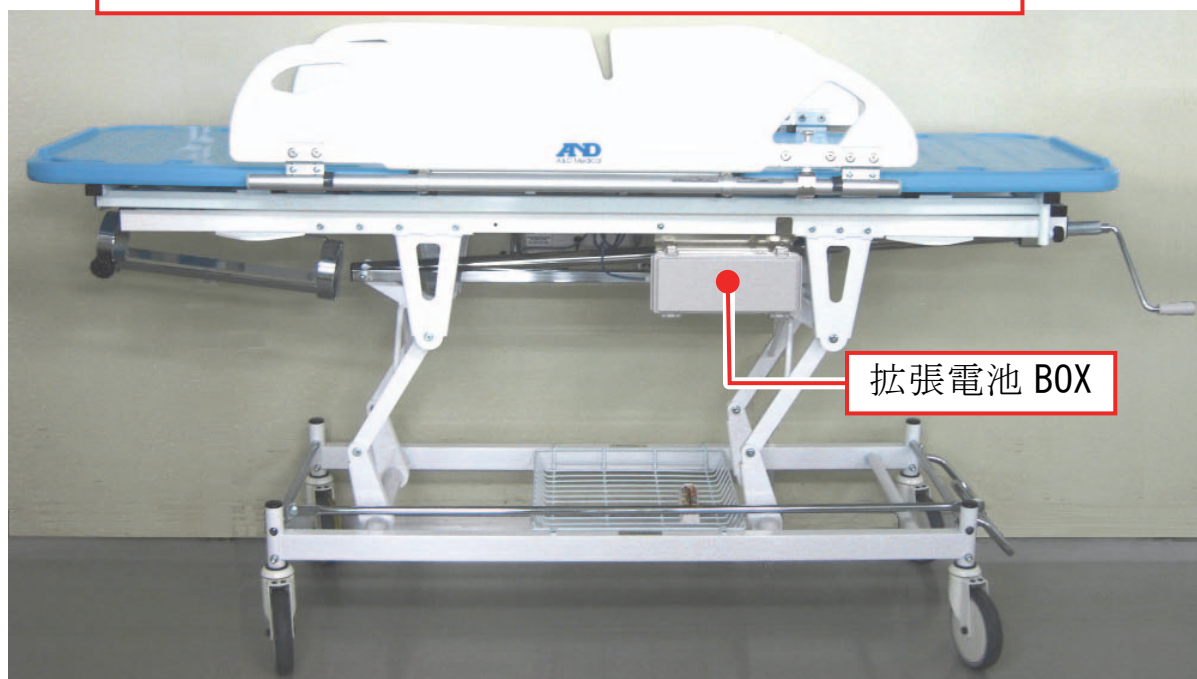


AD6051-04、AD6051-05

AD-6051/AD-6051A 用拡張電池 BOX オプション

## 取付手順書




AD-6051A ストレッチャスケールの取付け写真例






拡張電池 BOX

取扱説明書および製品には、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

### 警告サインの意味

 <b>危険</b>	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

### その他

<b>お知らせ</b>	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

### ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

© 2013 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

# 1 特長

AD-6051-04/AD-6051-05（拡張電池BOX）をAD-6051/AD-6051A（ストレッチャスケール）に取り付ける拡張電池BOXです。標準で付いている電池ケースと交換して、ストレッチャスケールを単一形アルカリ電池6個で、約120時間（プリンタ印字しない場合）の連続使用または、測定印字動作2000回以上をすることができます。

## 2 作業前の確認

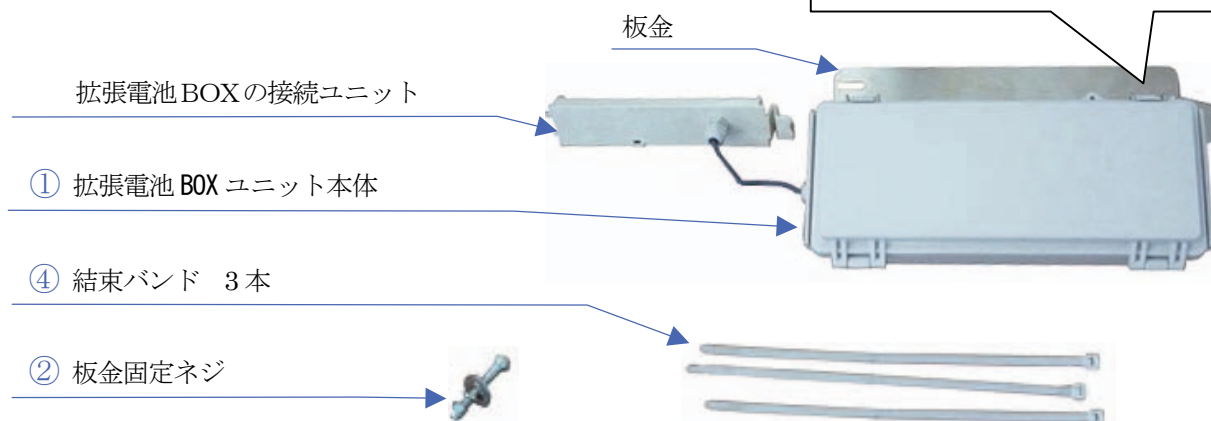
### 2.1 欠品がないか確認します。

AD-6051-04 の梱包内容に欠品がないか確認します。

AD-6051-04 は、工場出荷時にAD-6051/AD-6051A（ストレッチャスケール）に取り付けてあります。

AD-6051-05 の梱包内容に欠品がないか確認します。

- ① 拡張電池BOXユニット本体
- ② 板金固定ネジ
- ③ L字金具とL字金具止めネジ
- ④ 結束バンド 3本



### 2.2 使用する工具を用意してください。

- ① 六角レンチ No5



- ② M6用多辺10スパナ



- ③ +ドライバー No2



### 3 取り付け作業

#### ⚠️ 注意



- 拡張電池 BOX やストレッチャは重いので、取付作業中に落としたり、体の一部を挟んだりしないように注意してください。
- 取付時は必ず乾電池を外してください。
- 電極や電線をショートさせないでください。故障の原因になります。

#### 手順

- ① ペダルを下げ、キャスタをロックします。
- ② ストレッチャスケールの担架をハンドルを回して高くします。
- ③ L字金具を軽くネジ止めします。
- ④ 板金固定ネジのナットとワッシャ 1 個を外しておきます。

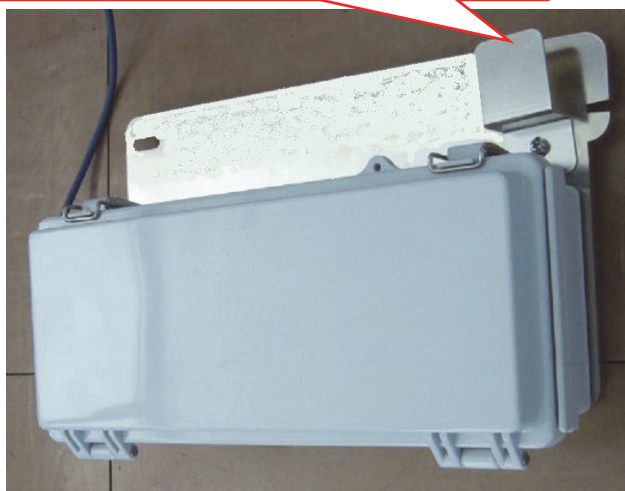


② ハンドルを回して高くします。

① ペダルを下げ、  
キャスタをロックします。



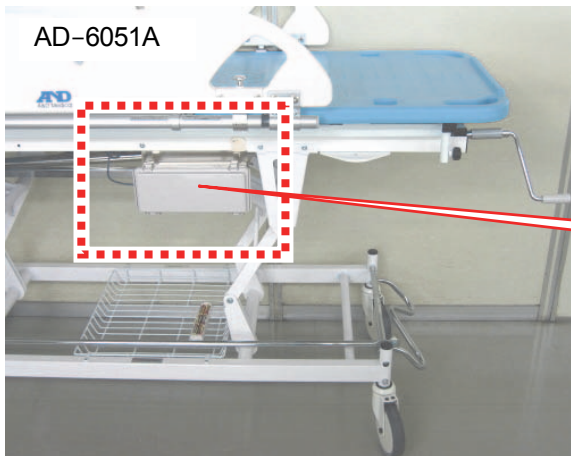
③ L字金具を軽くネジ止めします。



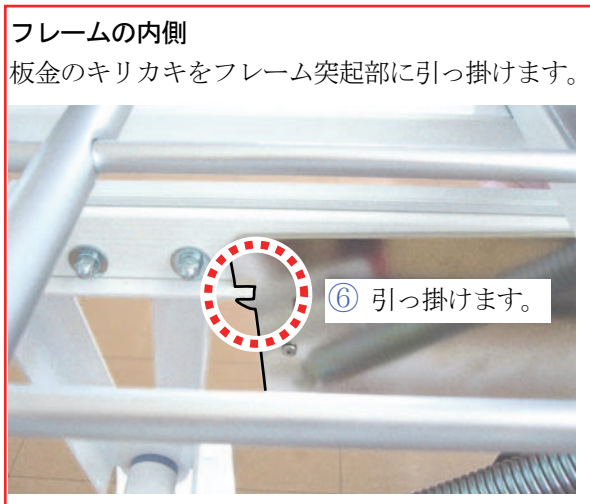
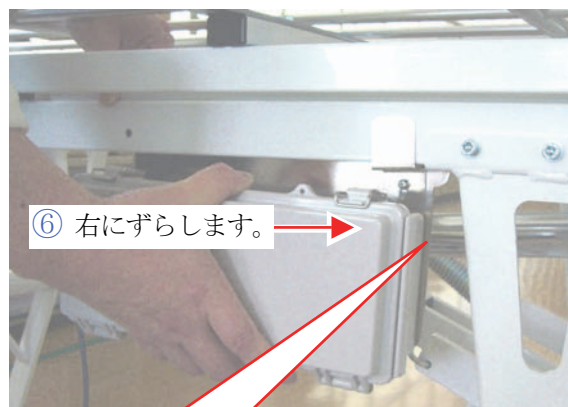
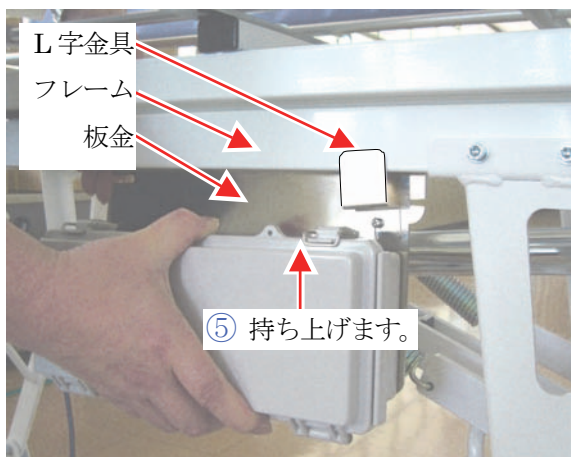
④ ナットとワッシャを  
1 個ずつ外します。



- ⑤ ストレッチャスケールのフレームを板金とL字金具挟むようにします。
- ⑥ そのまま右にずらし、板金のキリカキをフレーム突起部に引っ掛けます。

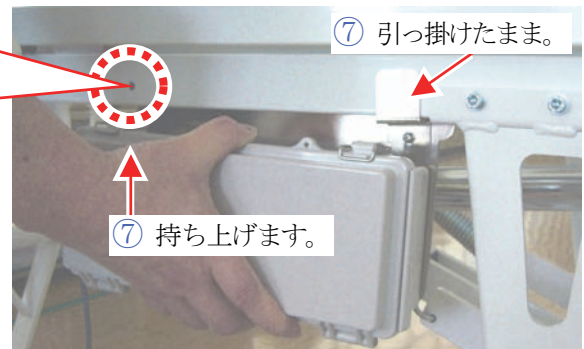


拡張電池BOXをここに取り付けます。






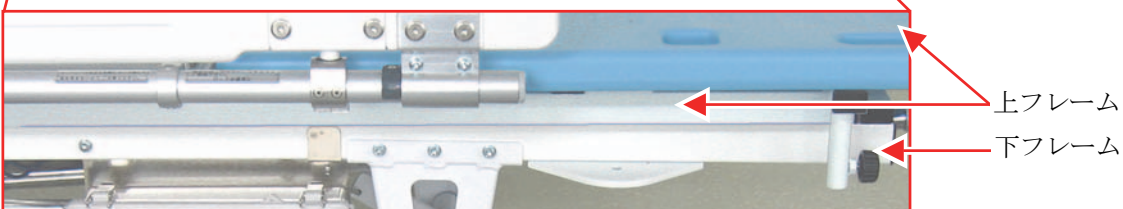
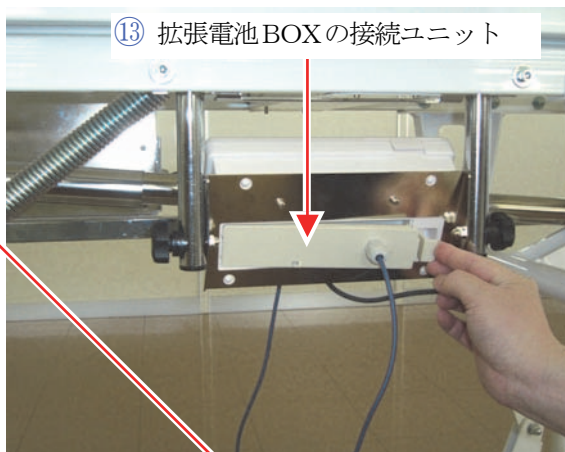
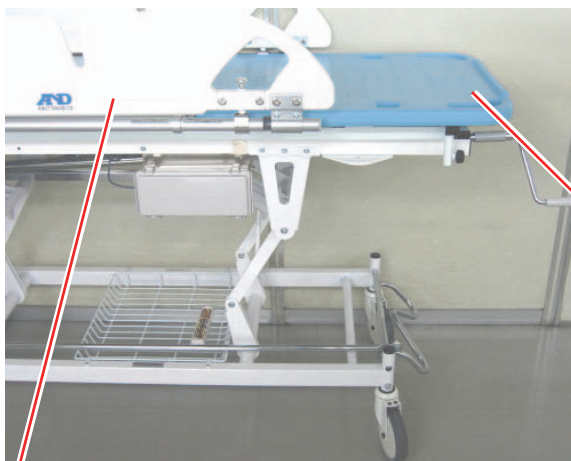
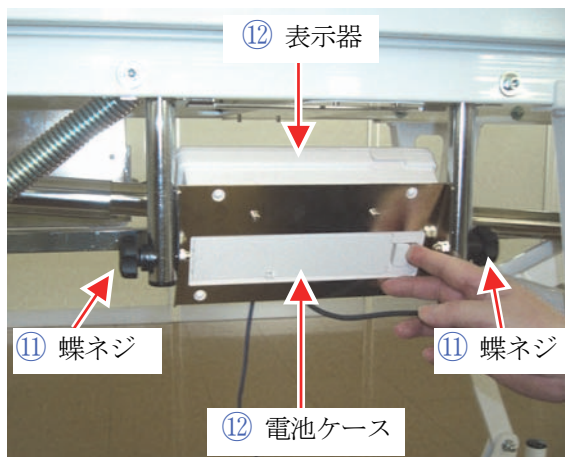
- ⑦ フレームに板金の位置を合わせ、板金側から板金固定ネジを貫通させます。
- ⑧ 板金固定ネジが抜けないように手で押さえながら、ワッシャとナットを取り付けます。
- ⑨ スパナでナットを固定し、六角レンチで板金固定ネジをしっかり締めます。



## ⚠️ 注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 固定ネジの締付けが不十分でネジが抜けてしまった場合、拡張電池BOXがストレッチャから脱落し大きな事故または、故障の原因になる危険があります。固定ネジは抜けないように確実に締めてください。</li> <li>■ 電池ケースの電極をショートさせないでください。故障の原因になります。</li> </ul>
---	---

- ⑩ L字金具の向きを整え、ドライバでしっかり固定します。
- ⑪ ストレッチャスケールの表示器をステイの蝶ネジを緩めて裏返します。
- ⑫ ストレッチャスケールの表示器から電池ケースを取り除きます。
- ⑬ 表示器に拡張電池BOXの接続ユニットを取り付けます。

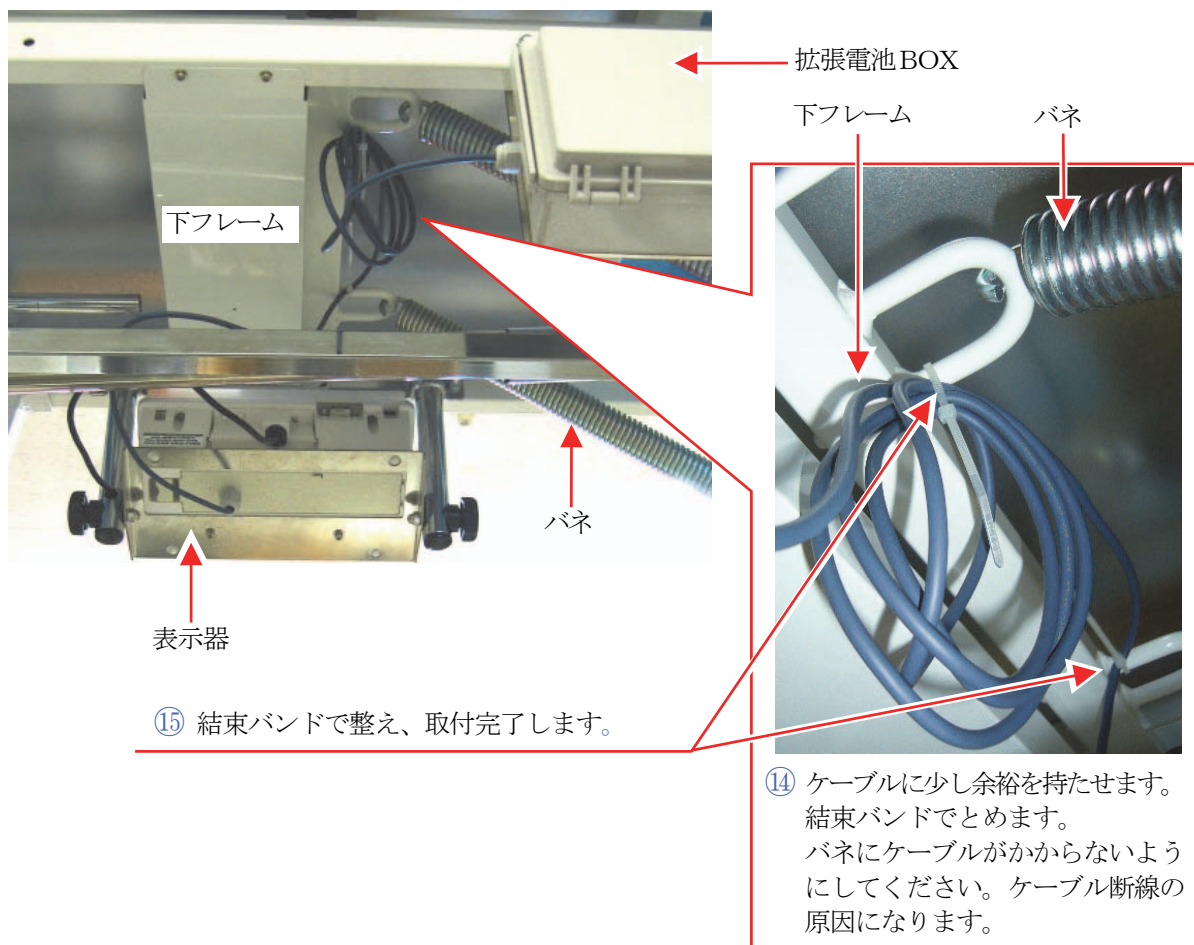


## ⚠注意



- ケーブルのたるみが大きいと、ケーブルにものや人が引っかかり、ケガや故障の原因になります。

- ⑭ ケーブルに少し余裕を持たせて、下フレームに結束バンドでとめます。  
 ケーブルが引っ張られた状態の場合、ケーブル断線等の故障の原因になります。  
 ケーブルを上フレームにとめた場合、測定誤差が生じる恐れがあります。
- ⑮ 結束バンドの余っている部分はカットして、取付完了です。



## ⚠注意



- 電池交換の際は、電池の極性 (+/-) を間違えないでください。電池ボックスの極性マークの指示に従い、乾電池を装着してください。
- 古い乾電池と新しい乾電池や違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。乾電池の液漏れによる故障は保証の対象外となります。
- 乾電池の液が体についたら、すぐに水で洗い流してください。
- 乾電池の寿命は、周囲温度や機器の使い方により変化します。